

BUDŌ NEWS

今月のニュース



明治 150 年記念

第 41 回日本古武道演武大会



明治 150 年記念 第 41 回 日本古武道演武大会



柳生新陰流兵法剣術

古武道 35 流派が秘奥の技を演武

明治150年記念第41回日本古武道演武大会（主催Ⅱ日本武道館、日本古武道協会）は、2月4日に日本武道館で、演武者・関係者・観覧者約3千名が集まって開催された。

演武大会には全国から古武道35流派320名が参加し、古から伝わる武道の奥義が次々に披露された。

大会は10時30分に開会。三藤芳生日本武道館常任理事・事務局長・日本古武道協会常任理事の開会宣言、国歌斉唱の後、高村正彦日本武道館会長・日本古武道協会会長が主催者挨拶を行った。

「古武道は現代武道の源泉・源流であり、150年以上前、武士達が実際に学んでいた武道であります。どうか演武者の皆様方におかれましては、日頃熟練の心技体を十分に發揮していただき、ご観覧の皆様方におかれましては古武道の奥義・神髄を十分に堪能いただき、それが古武道の更なる伝承・発展に役立てば大変有り難いと思っております」

次に白井日出男日本武道館理事長・日本古武道協会理事長が挨拶に立った。



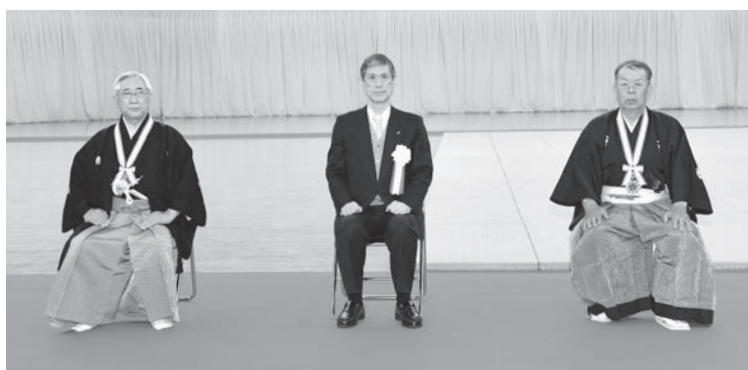
山谷えり子参議院議員



臼井日出男日本武道館理事長



高村正彦日本武道館会長



古武道功労者表彰。左から柳生耕一厳信氏、高村正彦会長、小野尾正治氏

「第41回日本古武道大会を盛大に開催できますことを心から嬉しく思います。現代武道の源流たる古武道を通じて、我々日本人が持つていなければいけないものがあります。日本を誇りとする気持ち、他者に対する思いやり、そしてなによりも元氣さ、活力の3つです。この3つが欠けている現状をなんとかしないとい

けません。皆様には是非とも古武道を通じて、これらが身に付くようご協力をお願いしたいと思います」
続いて山谷えり子参議院議員が来賓祝辞を述べた。

「毎年、皆様の演武を息をするのも忘れるくらい見入っております。古武道は武道の源流であり、原点を大切にすることは重要なことです。古武道には千数百年の歴史、それぞれの土地の魂、素晴らしいものが脈打っております。本日は武道家の聖地である日本武道館で、皆様の日頃の力を存分に発揮してください」

開会式が終わると、古武道功労者表彰に移った。平成29年度の古武道功労者である柳生耕一厳信（柳生新陰流兵法剣術第二十二世宗家）、小野尾正治（森重流砲術代表）の両氏。両氏には賞状と賞品が授与された（古武道功労章受章の喜びの声は152頁〜153頁に掲載）。

演武は午前11時から始まり、最初に小笠原流弓馬術が百々手式を披露した。これは祈願・魔性退散または祝事・祭事で行われる儀式で、日本古武道協会の今後ますますの隆盛と

熊本地震、原発事故からの復興を祈願して執行された。その後は兵法タイ捨流から順に各流派の演武が披露されていった。18番目の小野派一刀流剣術の演武後に20分間の休憩を挟み、古武道功労章を受章した柳生耕一厳信宗家の柳生新陰流兵法剣術から演武は再開された。各流派とも特色が溢れる演武を披露し、演武が終わる度に客席からは大きな拍手が起こった。演武会の掉尾を飾るのは森重流砲術。まず礼射にあたる居放（いばな）が演武され、火縄銃の轟音が館内に響くすると、客席からは大きなどよめきが起こった。続けて、五発を短時間に発砲する早放（はやな）で、最後に射手が横一列に並んで射撃を行う備打（びくた）が披露されて演武納めとなった。

火薬の匂いと白煙が、もうもうと立ちこめる中、内田康良日本古武道協会理事・事務局長が閉会を宣して、大会は盛会裡に終了した。





兵法タイ捨流



野田派三天一流剣術



為我流派勝新流柔術



二刀神影流鎖鎌術



心月無想柳流柔術



立身流兵法



沖縄剛柔流武術



小笠原流弓馬術



天道流薙刀術



荒木流軍用小具足



初實剣理方一流剣術



神道夢想流杖術



氣樂流柔術



和道流柔術拳法



澁川流柔術



大東流合気柔術琢磨会



天神真楊流柔術



直心影流薙刀術



柳生心眼流體術



鹿島新當流剣術



森重流砲術



長谷川流和術



小野派一刀流剣術



卜傳流剣術



鐘捲流抜刀術



雲弘流剣術



宝蔵院流高田派槍術



尾張貫流槍術



竹内流柔術日下捕手開山



円心流居合据物斬剣法



貫心流居合術



鹿島神傳直心影流剣術



金硬流唐手・沖縄古武術



神道無念流剣術

出場流派・演武者（演武順）

①小笠原流弓馬術（神奈川）

小笠原清忠、小笠原清基、鎌形佐知夫、玉川智、吉田昌伸、星野達郎、砂口勝紀、町田和海、武宮誠、佐藤雄亮

②兵法タイ捨流（熊本）

上原エリ子、山本隆博、田添信一郎

③澁川流柔術（大阪）

吉野明嗣、五嶋有気、東英章、南合洋行

④宝蔵院流高田派槍術（奈良）

一箭順三、前田繁則、粕井隆、尾野好司、若林幹雄、長田眞男、美馬博幸、高橋英樹、西本昌永、宮島勝

⑤貫心流居合術（島根）

松本秀邦、玉木久男、中村政雄、安達喜久雄、石田隆、守山健三、米山正行、小笠原優子、ダニエル・プロドリック

⑥竹内流柔術日下捕手開山（岡山）

竹内藤一郎、竹内久明、氏房功、八木隆志

⑦卜傳流剣術（青森）

小山秀弘、小山隆秀

⑧沖繩剛柔流武術（沖縄）

東恩納盛男、中村哲二

⑨氣楽流柔術（群馬）

飯島文夫、飯島雅史、飯島幸、川島輝之、大塚良太郎、船田清

⑩野田派二天一流剣術（熊本）

荒木章博、大群和史

⑪心月無想柳流柔術（兵庫）

岩永源三郎、大窪敏明、吉岡勝子、桑

波田秀祐、八島和雄、井上優一郎、奥村宗一郎、中尾昭二、山本公子

⑫天道流薙刀術（東京）

木村恭子、針本佳世子、田室美知子、浦部育子、小野由紀子、廣瀬幸子、額原和代、玉置捷子、和田久代、野崎恵美、中段亜由美、近藤圭恵、清水真由美、木村有里

⑬円心流居合据物斬剣法（大阪）

増本孝和、高槻幸雄、片野美佐、北野光一、吉井壽彦、梅田こずえ、徳山和彦、松永道広

⑭金硬流唐手・沖縄古武術（沖縄）

早坂ゆかり、大村朝洋、江幡妙子

⑮為我流派勝新流柔術（茨城）

根本憲一、唯之、谷啓二、大和久正幸、村木浩治、沢幡伸男

⑯雲弘流剣術（熊本）

井上弘道尤雲、井上照貴

⑰二刀神影流鎖鎌術（高知）

島村収、細川隆、中平凱也

⑱小野派一刀流剣術（東京）

矢吹裕二、川上夫、浅井雅史、石崎徹

⑲柳生新陰流兵法剣術（愛知）

柳生耕一、嚴信、霞谷努、鈴木泰充、柴田幸芳、洲上俊顕、星川宣禎

⑳長谷川流和術（埼玉）

桑原巡、宮下邦博、倉田勝己、中前裕治、逸見彰一

㉑尾張貫流槍術（愛知）

加藤伊三男、下村幸裕、神戸信夫、下

村直樹、赤羽根大介、森治紀、毛利圭介、横地浩紀、小池祐紀、アレックス・クラップ、神原会弥、山内一統、新垣ダニエル、塚田信希、木村凌弥、若尾洋子、石田理英、中村武靖

㉒神道夢想流杖術（福岡）

波止成徳、神代孝一、乙藤美津子、光廣勝人、上野二

㉓鐘捲流拔刀術（岡山）

檀原正士、檀原弘之、柚木一男、俣野勝美

㉔大東流合気柔術琢磨会（大阪）

森恕、川邊武史、芝田彰祐、横原恒夫、藤江美智雄、小林明彦、谷井健一

㉕初實剣理方一流剣術（岡山）

植月求、植月重幸、正木英登

㉖直心影流薙刀術（奈良）

荻原晴子、阿部妙子

㉗鹿島新當流剣術（茨城）

今井淳也、小松崎政史、横尾廣美、内田嘉昭、橋本大、豊屋敏治

㉘柳生心眼流體術（神奈川）

梶塚靖司、寺久保敦也、高橋慶太、谷野文弥、吉岡一紀、藤澤勝也、前田樹里、鈴木真由

㉙神道無念流剣術（東京）

小川武、中島宏之、萩崎昭、齊藤政文、中館秀光、落合毅、土屋正則、城崎建太郎、牧戸昌邦、玉根純也、丹羽恵一、浅野史明、山谷怜子、樋口夏樹

㉚和道流柔術拳法（東京）

大塚博紀、井上義孝、寺田英視、押田良光、坂巻明、金澤紀代子、マルコ・ブルサーチ、ロヒヤ・ファンデル・フェルデ

㉛荒木流軍用小具足（埼玉）

豊田良樹、千葉明、栗林征喜、坂本浩一、片桐克彦、河野真一、浅輪晃一、鶴岡嘉治、鶴岡優子、高橋杏奈

㉜天神真楊流柔術（埼玉）

坂本忠彦、渡邊卓也、岩倉淳、古川眞、小澤修一

㉝鹿島神傳直心影流剣術（千葉）

岩佐勝、若林タニエル悟、中平尊、松本光司、石原功登

㉞立身流兵法（千葉）

加藤紘、加藤敦、齊藤勝、山田市郎、江尻裕介、吉田龍三郎、甲賀喜助、圖司行克、八角敏正、鈴木美智子、山崎恒弥、石毛勝也、渡辺紳一、栗原実、梅谷咲太郎、大畑勇気

㉟森重流砲術（神奈川）

小野尾正治、村上藤次郎、青木孝、角替進、齊藤一博、片山直巳、石井和己、市川恵一、佐野翔平、小林透



好評発売中

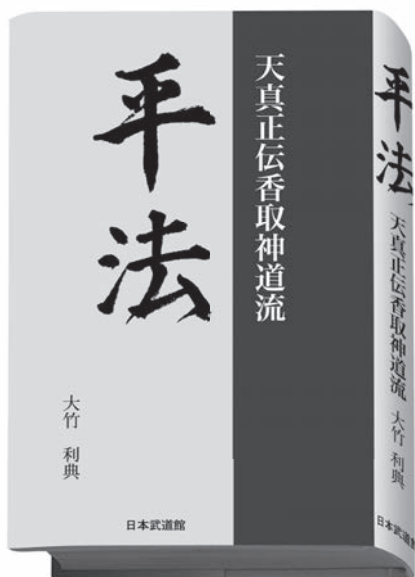
平法

天真正伝香取神道流師範

大竹利典 著

天真正伝香取神道流

近世剣術の源流として知られる天真正伝香取神道流の全伝を受け継ぐ著者が、その膨大な武と知を語る。



(四六判・上製・296頁)

香取神道流の歴史、剣術・居合術・薙刀術・手裏剣術などの武術、方術・築城術などの遁甲術や軍学兵法を、伝書を基に紹介。
さらに、七十年近い修行人生を振り返り、武を志す全ての者に必要な「平法（へいほう）」の思想について語る。

目次

- 序章 香取神宮御由緒
 - 第一章 歴史篇
 - 第一節 経津主大神の真伝、「天真正伝香取神道流」
 - 第二章 修行篇
 - 第一節 入門
 - 第二節 林先生に師事
 - 第三節 香取神道流最初の異国の門弟
 - 第四節 流祖生誕六百年記念祭
 - 第三章 技術篇
 - 第一節 剣術
 - 第二節 居合術
 - 第三節 棒術・薙刀術、槍術、手裏剣術
 - 第四節 柔術
 - 第五節 忍術
 - 第四章 軍学兵法篇
 - 第一節 遁甲術
 - 第二節 刀剣と密教
 - 第五章 思想篇—全ての修行者へ
 - 第一節 修行者の心得
 - 第二節 兵法は平法なり
- 平和を願う偉大なる教え



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



(B5判・上製・箱入・462頁)

古流武術研究家
横瀬 知行 著

日本の古武道

直接取材による2000枚の写真と豊富な資料で古流の全貌を紹介！

日本の古武道には長い歴史と伝統があり、流祖に始まる一子相伝の脈々たる生命の大河を貫く知恵と経験が一つの見事な体系となって現代に伝えられている。



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。